



メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

巻頭	創立 30 周年記念映像 撮影快調！	…… 1	書評	『あなたの鼻がもう少し高ければ』～ルッキズムを考える～…… 6
寄稿	MAFGA インターン 1 年間のふりかえり (前編)…… 2		カレンダー	2022 年 10 月の comm cafe ランチカレンダー …… 7
報告	ウトロ平和祈念館訪問	…… 4	編集後記	…… 10



創立 30 周年記念映像 撮影快調！

2023 年 2 月 23 日 (木・祝) @箕面文化芸能劇場で公開予定

今年、2022 年度は箕面市国際交流協会が 1992 年に設立されて 30 周年にあたる。この間、地域のニーズや社会状況も移り変わるなか協会の事業も変遷を遂げてきたが、国籍を問わず多くの市民の参加によって協会とその事業が生まれ、発展してきたことは一貫している。30 周年記念にあたっては、特にこの 10 年間でふりかえって、協会に関わってきた人々にスポットをあてた記念映像の制作が進行中だ。



プロのメイクさんと機材で講座室が撮影スタジオに

制作するのは合同会社 Cinergia の皆さん。関係者の座談会や聞き取りなどを経て、全体の構想を練り、インタビュー撮影や各所でのロケも行った。プロの映像集団の視点とスキルを通して、普段顔をあわせるだけでは知ることのできない、それぞれの経験や思いを描き出しながら、協会を取り巻く

コミュニティの実相に迫る。

映像は 2023 年 2 月 23 日 (木・祝)、箕面文化芸能劇場・大ホールで開催する記念式典 & シンポジウムで公開する。シンポジウムでは国や企業、大学、外国人市民当事者など、様々な立場のパネリストから箕面市での取り組みの意義と可能性を語ってもらう。ボランティアや地域の皆さん、行政や学校の方々など、これまで協会とかかわりを持ってきた皆さんにはぜひ参加してほしいので、予定を空けておいてほしい。詳細は今後 HP や「めろん」でお知らせする。(河合)



箕面市役所でのロケ撮影。
ボランティアの皆さんがエキストラで出演

発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会 (MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西 5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp HP : www.mafga.or.jp

賛助会員数：267 名 法人会員数：26 団体 (2022 年 9 月 18 日現在)



MAFGA インターン1年間のふりかえり

ゲン・チュック・リン

(2021年度協会インターン)

■ はじめに

それは仲の良い後輩から始まった。4年生に入ったところ、将来自分は何をやるかまったく分からないまま、必死に仕事を探していた。人生に絶望した時に、後輩のアインさん*との話を思い出して、マフガ**のインターンシッププログラムに応募することを決めた。最初は、ただ普通のインターンシップだと思っていたのに、そうではなかった。

■ 分からない事ばかりから始まった…

不思議に思うのが、4年近くも大阪府に住んでいて(箕面市に半年、池田市に3年)、外国人をサポートするマフガのことをまったく知らなかったことである。私は日本語が分かるのでサポートが要らないから、日本語が分からない外国人市民はどうやって過ごすのかを、そこまで考えてなかった。

■ 想像したマフガでの仕事…

アインさんからマフガの職員が優しいという話も聞いたが、初めてのグループ面接で、応募者数が多数であることも聞いたので、大変緊張した。

面接結果が出たとき、大喜びだった。初めての日、マフガに着いた瞬間、面接を一緒に受けたベトナム語専攻の子がいた。その年のイン

ターン生が2人ともベトナムに関わっている。なんと嬉しい！最初から良い予感があった。私は地域・広報チームに入ると聞いた。前年のアインさんと違う部門なので、「地域・広報って難しそう、ちゃんとできるのかな？」と悩んでいた。

■ 地域・広報部門のインターン生として…

一年間の最も大事な2つのイベント、大阪大学新箕面キャンパスでの国際フェスティバルと多民族フェスティバル。それぞれの企画と実施(司会者)を体験できた。そして、思ったより、インターン生の私が決められる範囲が広がった。ただ「こうやってください」ではなく、ちゃんと私の意見を聞いて、国際フェスティバル企画ははじめの提案である「小学生の一日」が「みんなの一日」***という企画になって実現した。良いものを提案したとの喜びもあるが、自分が提案したものに対する責任を感じた。準備の楽



中央がリンさん

箕面山聖天宮西江寺

役行者により658年飛鳥時代に開山。日本最初の歓喜天霊場。
大聖歓喜天は象頭人身のインドの神様がネーシャが起源とされる。



〒562-0001
大阪府箕面市箕面2丁目5-27
072-721-3190
阪急箕面駅より北へ徒歩約10分



写経・阿字観瞑想・
お茶室体験・ヨガ
など開催中



しみ、イベント当日までのワクワク感、手伝ってくれた方々との思い出、私にとっては、かけがえのないものである。

■ 様々なプログラムのボランティアとして…

マフガのインターンを皮切りに、様々な事業に携わった。①「みのお多言語ポータル」の翻訳ボランティア、②「小学校多文化理解プログラム」などでの講師、③みのお外国人医療サポートネットの同行通訳、④パナソニックの「あるままフェス」の学生スタッフ。たった1年間なのに、大学3年までの経験より多かった。毎週少しずつ社会人の仕事・生活を体験できて、いつの間にか少し大人になっていた気がする。

①で日本語・ベトナム語の固い表現の翻訳方法、②で日本の子どものコミュニケーションスキルと、普段ベトナム人として気付かない自分の国のこと、③で医療通訳スキルと在日ベトナム人の困っていること、④で日本の大手企業であるパナソニックのことと、マフガでメインにする地域づくり・広報の内容と少し被っているイベント企画の経験が身に付いた。

マフガで習ったこと

■ 朝礼・助け合い

この「朝礼」はどこの会社にもあるわけではないが、みんなの仕事を知る、一緒に仕事を助け合う、という点が気に入っている。そして、朝礼で分かったのが「情報共有が大事」である。この言葉自体が日本に来てから初めて聴いて、マフガで実際にインターン生として働いた後、「なるほど」と思った。朝礼を通じてみんなの仕事を聴いて、分担のおかげで業務が効率化し、

「今日のひとこと」のおかげで、職場関係・雰囲気良くなっている。「ひとこと」は私の番が嫌だったが、他人の話を聴くのはいつも楽しみにしていた。

■ 事務作業

ラミネートやコピーなどは誰でも身に付けるべきスキルである。マフガで体験したことで、実際に働くときに馴染みに感じる作業になった。一番簡単な作業から始めて達成感が出てきて、難しい事にもどんどん挑戦してみたいと思った。

■ 職場で使用する日本語・日常会話の日本語

職員から「写メ」という言葉をはじめて聞いた。「写」が写真のことを意味すると知って、日本では略語、頭文字をよく使うのだと分かった。

日常会話では、ほとんど「タメ口」でしゃべっているが、慣れてしまうと、日本語が母語でない私にとっては就職の面接、接客の仕事などに困るだろう。この一年間、毎週マフガの職員の皆さんとコミュニケーションするだけで、日常会話でも、職場の日本語を身に付けることができた。

(次号につづく)

* アインさん…2020年度の協会インターン

** マフガ…MAFGA (箕面市国際交流協会の英語名 Minoh Association for Global Awareness の頭文字をとって MAFGA (マフガ)。外国人市民の間を中心に広く使われる協会の愛称。

*** 参加者が自分の中の「ある日」を切り取って、イラストや言葉で説明するワークショップ

「わかる」だけでは物足りない! 「わかった」だけでは成績は上がらない! 「できる」ように数林は教えます!

学校レベル別個別指導のびっくろ効果!
見逃さないで!!

中1~高1 成績を上げる! 在籍校別個別指導 1:2
週1回の通塾でOK! (80分×2コマ)

学校の少し先を先取り学習します。
質問取りではない、丁寧な講義と演習みっちり!!

高2・高3 大学受験対策個別指導 1:2
志望大学を攻略する数学力をつける 一人ひとりにあわせて
内容で、志望大学合格レベルに数学力を引き上げます。
基礎復習から共通テスト対策も万全 実践力を鍛え上げ
共通テスト200点獲得へ最短距離で導きます。

学校の成績を
取って
もらえるから
わかいやあし!



受験よろず相談承ります!!
成績や進路のお悩み、成績を上げる学習ポイントなど、塾長
がオンラインで御相談に応じます。(事前予約制・無料)

受験数学専門塾

数林



豊中市本町1丁目2-53 高山第3ビル5F
TEL 06-6852-1925
https://www.suurin.com
mail@suurin.com



ホームページ

ウトロ平和祈念館訪問

2020年2月から月1回のペースで定期開催している「多文化共生理解のための読書会」は、在日コリアンの生活史を通して、100年の現代史を捉えなおす学びの場だ。今までに、『わたしもじだいのいちぶです 川崎桜本・ハルモニたちがつづった生活史』、『ある在日コリアン家族の物語 つないで、手と心と思い～絵と物語で読む在日100年史』などを読み、ゲスト講師を迎えたりして語り合ってきた。

協会に繋がる「めろん」の読者の方であれば、「外国人市民は同じ日本社会に居ながらも、全く別の世界を生きている」という言葉を、多文化ボランティアセミナーや外国人市民の声として聞いたことがあるのではないだろうか。日本で生まれ育ち、日本語を母語、母文化として生きてきた私は、その言葉を重く受け止めながらも、本当の意味を理解することの難しさを日々感じている。今の時代を共に生きる者として、この社会をよりよくするために小さいながらも何ができるのか、想いを同じとする約10名と模索する日々だ。



奥に見えるのが、ウトロ平和祈念館
右側は、地区で唯一残った戦時中の労働者宿舎飯場を移設したもの。飯場の前には、井戸水をくみ上げるポンプも移設されている。

2021年8月京都・宇治市にある在日コリアンが集住するウトロ地区で火災が発生した。その原因は放火、差別感情が動機だったと報道されたのが同年12月。そのニュースに驚きと怒りと悲しみでいっぱいになった。

京都府宇治市伊勢田町のウトロ地区は、戦時中、日本軍の京都飛行場建設のための朝鮮人労働者たちの飯場跡に形成された集落だ。敗戦後は行き場のなくなった同胞も移り住んだ地区でもある。学校で、職場で、仕事探しや部屋探しでと、生活の様々な面で差別を受ける中、助け合いながら生活できるコミュニティとしての役目も果たしていた。80年代になっても未整備だった上下水道、土地問題から強制退去を迫られた日々。困難の直面する度に、住民を中心とした粘り強い市民運動を繰り広げてきた。そして韓国の

市民、そして韓国政府までも巻き込んで乗り越えてきた歴史がある。

一世の方々が皆鬼籍に入り、直接経験を語ることでできる人が少なくなる中、ウトロの歩んだ歴史と記憶の風化が危惧されている。今春開館したウトロ平和祈念館は、そんな街の歩みやそこに生きた人たちの歴史を後世へ伝える役割を担う重要な施設だ。

放火事件を受け、市民団体が開催した集会での「一番怖いのは社会の無反応」の言葉に後押されるように、2022年1月からはウトロ地区の歴史を学び始め、6月に平和祈念館を訪れた。以下に、参加者の声を紹介する。(末原)

=====

皮肉にも、あの放火事件によって、ウトロ地区が広く知られることとなった。かくいう自分もその一人だ。ウトロの成り立ちや住民たちの苦しい生活を知ると、なぜそのような状態が社会の中で見過ごされてきたのか、憤りを覚える。

同時に、自分は「知らなかったから」という無責任な理由で無関心でいたことを知る。そ

の無関心が、構造的に社会に横たわる差別を助長している。読書会を通して繰り返し感じるのは、歴史とは、今を生きるすべての人間が作っているということ。

祈念館を訪れ、ウトロを知り、事件の跡地を見て感じてほしい。どんな思いがあればこんな凶行ができるのかと疑問が浮かぶだろう。しかし実は、無意識に継承されている、自分たちの中にある差別感情が後押ししていることに気付くことが、まず一歩だと思う。(島田)

====

先日聞いた同和教育に関する講演の中で「差別の悲惨な面だけでなく希望に繋がるものを。希望がないとその先の展望に繋がらない」という話があり、それを聞いて祈念館の造りを連想した。祈念館は3階建てで、2・3階は展示スペース、1階は交流スペースとなっている。2・3階でウトロの歴史やそこで生きた人々に触れ、その歴史を踏まえて1階に戻り、今何を感じるか、これから何をするかを共有できる。これから生きる私たちにとって、こうした空間の存在がどれほど大切かを切に感じた。

ウトロで暮らす方々の生活や差別問題は過去のものではないと、放火事件跡や建設中の集合住宅からもひしひしと感じた。在日コリアンに対する差別問題において油断すると非当事者として振る舞ってしまいかねない立場にある私が、差別と自分に向き合い、考え続けていくことにおいて、ウトロ訪問は意義深い経験だった。

参加者の皆さんと、訪問で得たことを各々のフィールドに照らし合わせて見識を深め、帰りの車内でシェアしたのも大切な時間となった。(小林)



ウトロ平和祈念館の副館長金秀煥さん(上段右側)読書会のメンバーと。

ウトロ平和祈念館

開館日： 金・土・日・月曜日 10:00～16:00
入館料： 一般300円 / 小学生100円 / 小学生未満無料

〒611-0043 宇治市伊勢田町ウトロ51-43
TEL: 0774-26-9222 E-MAIL: info@utoro.jp

市民の力で運営する、ウトロ平和祈念館では、年間パス付きの一般会員や学生会員など、様々なサポーター制度があり、ボランティアも広く募集している。



胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科



おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
am9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	○
pm1:00～3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□	□
pm5:00～7:30	○	○	○	○	○	○	○

※診療開始30分前から受付します。

■胃カメラは予約制です。

■休診日：火・土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日

■http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/

【住所】562-0023

箕面市粟生間谷西3丁目7-9 シャトー野間1F

阪急バス停留所「宮の前」スーパーマルヤス向い

●無料駐車場 有

TEL 072-730-0721



エスパーロ

能勢

espero osaka

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄476

営業時間：金～月 11:00～17:00

http://espero-osaka.com/

箕面市国際交流協会の
多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912
(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時：火曜日～日曜日 9:00～17:00

受付方法：来館、メール、電話

対応言語：日本語、韓国語・朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所：箕面市立多文化交流センター



『あなたの鼻がもう少し高ければ』 ～ルッキズムを考える～

(「春のこわいもの」収録 川上未映子著 新潮社)

「もしせむしからその背のこぶを取るならば、それはかれの精神を取り去ることになる」(原文ママ)。『ツアラトウストラ』(ニーチェ：手塚富雄訳)のこのくだりを読んだ時の衝撃は忘れられない。10年間、山で隠棲していたツアラトウストラは、自分の所有するものを分かちあたえるために下界へ赴くが、彼の教えを信じさせるには人々の障碍を癒すのが良い方法だといわれ、断る。この一節に、「〈前略〉(障碍者は)それをもとにして生存をはかり、自分を強めつつあるのである。〈中略〉人はそれぞれの中核を持っているのがいいのだ〈後略〉」との註解がつく。

ルッキズムは最近、よく見聞きする言葉だが、外見に基づく差別や偏見のことで、外見至上主義を指す場合もある。背格好や顔貌、障碍の有無などから不利益を受ける人々がいるのが実情だ。容姿がよければ思い通りの人生を送れるのだろうか。時代や地域や個人の嗜好によって「美」の基準は変わるといえるが、現在では、美も醜もないのだという考え方も出てきた。

『春のこわいもの』は六つの作品からなる短編集で、いずれもコロナ禍を背景に「わたしがわたしであること」をモチーフとしている。その中の『あなたの鼻がもう少し高ければ』は、いわゆるインフルエンサーのSNSのアカウントをフォローし、その美貌や華やかな生活に心酔して自らも整形を夢見るトヨという女子大学生の物語である。年齢不詳のモエシャンは、SNSには顔をチラリとしか映さず、高級料理を食べ、ハイブランドで買い物をし、金持ちの男性のお金を使って可愛い女の子たちと遊ぶ。それを本人や取り巻きたちがアカウントにあげるわけだ。

〈心じゃない、顔と向き合え〉というモエシャンの文句に、トヨは痺れる。そして、あらゆる手を使って金を稼ぎ、整形と美容につき込む人々をよしとし、多様性とか自尊心とかルッキズムに反対する友達の言葉やSNSの書き込みに白ける。「そんなの嘘じゃん」。

ある時、モエシャンチームの一員になるべく、ホテルの一室に審査を受けに行くことになった

トヨだが、一緒に部屋に入ったマリリンは、あらゆるパーツを整形していた。

トヨは自分のことを美人ではないが、醜くもないと思い、髪的美しさには自信がある。ただ、口元にコンプレックスがあった。自分という存在が、何かをじっと待機している状態、何かを噛み合えば、オセロがずらっと裏返るみたいに、全てが変わる気がする、と述懐する。

結局、トヨは、側近のチャンリィから整形をすませてから出直してこいと罵倒され、マリリンに至っては声もかけてもらえず、二人はモエシャンの顔を見ることもなく追い出される。この身も蓋もない拒絶のシーンが、双方の病を痛々しく炙り出すわけだが、似たような場面はネットで、あるいは現実の社会でこれまでも繰り返されてきたのではないかと。

トヨが美という基準に拘泥し、その枠内から一歩も出ようとしない限り、人生は変わらないだろう。トヨに欠如しているのは肥大化した自己を相対化する他者である。真っ当な意見を言う友達を「弱い」と決めつける自身の価値観が絶対ではないと知ること。素のトヨの個性や屈託こそが彼女の「強み」となり得るはずで、それにより他者への理解も深まるのではないかと。

筆者が冒頭のツアラトウストラに打たれたのは、自らの偏見に気づかされたからだ。誰もがありのままの自他を受け入れることを礎として、魂が磨かれるのだと知った。川上氏もまた、この作品のどぎついまでの言葉の羅列で読者の内心をえぐる。まずは自分を縛るものから解放されることで、社会のありようにも問いかけられる。一元的なものの見方は、多面的な人間の像を歪ませることを肝に銘じておきたい。(山下)



10月
October



comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

火～土

9:30 - 11:30 **朝カフェ**
11:30 - 14:00 **ランチタイム** *売り切れ次第終了します
- フルメニュー ¥950

14:00 - 17:00 **午後カフェ**

日・祝日 *ランチはありません

10:00 - 13:00 **世界の朝ごはん** ¥660 (ドリンク付)

★箕面ふるさとカレンダー 2022 のテーマは「料理で世界旅行」
comm cafe のシェフによる「箕面産野菜を使った世界の一皿！」
毎月のシェフの日には、カレンダーのメニューが食べられます。

おしらせ

■9月より、昨今の物価上昇に堪えきれず

ランチ価格を 950 円 (税込)

と、させていただきます。

他のメニューの価格変更はございません。

■コロナウイルス感染拡大防止対策のため、
マスク会食にご協力ください。

**2022年4月から、毎週水曜日は店休日と
なっています。現在、新しい活用方法を検
討中ですので、しばらくお待ちください。**

ス… スナック & スウィーツの日 ㊦… カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび	にちようび
					1 ルーバさん 《インド》	2 世界の朝ごはん 《イランのトルクメン》 10:00～13:00
3 休館日	4 コフさん 《タイ》	5 店休日	6 ス MAFGA スナック	7 フランクリンさん 《キューバ》	8 協会主催事業のため ランチはお休みです。	9 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00～13:00
10 [祝日] ス MAFGA スナック	11 ノックさん 《タイ》	12 店休日	13 アスイエさん 《イラン》	14 協会主催事業のため ランチはお休みです。	15 ティーさん 《ベトナム》	16 世界の朝ごはん 《インド》 10:00～13:00
17 休館日	18 アスイエさん 《イラン》	19 店休日	20 ノックさん 《タイ》	21 山口さん 《中国》	22 トゥエットさん 《ベトナム》	23 世界の朝ごはん 《ベラルーシ》 10:00～13:00
24 休館日	25 ホーさん 《香港》	26 店休日	27 フランクリンさん 《キューバ》	28 洪さん 《コリア》	29 かやのお宝人権まつりに 出店のため、閉店します。 詳しくはP9告知欄を!	30 世界の朝ごはん 《ベトナム》 10:00～13:00

★コロナウイルス感染拡大防止のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。 <https://www.facebook.com/mafgachallengecafe>



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで ※開催場所: 箕面市立多文化交流センター

☎: **072-727-6912** FAX: **072-727-6920** ✉: **info@mafga.or.jp**

イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。最新情報は協会 HP を確認ください。www.mafga.or.jp

イベント情報

まふがっこ 10/1(土) 14:00-16:00	多文化体験・交流・学びクラブ まふがっこ 2022年度も地域の子どもたちを対象にした恒例企画。 まふがっこになって、世界につながろう!! 【テーマ】イラン・モンゴル・韓国・タイの文化と遊び	定員 : 10名 (要申込) 場所 : 講座室 参加費 : 無料
子ども食堂 10/8(土) 11:45-12:50	comm cafe クラファン企画 多文化子ども食堂 シェフがおいしい食事と楽しいゲームを、外国ルーツの子どもたちとその家族や友人に提供します。今回はイラン料理。 ◎アスイエ・ゲリチ (コムカフェシェフ・イラン出身)	対象 : 外国ルーツの子どもとその保護者 定員 : 25名 (要申込) 場所 : comm cafe 参加費 : 子ども 100円 大人 300円
セミナー 10/8(土) 13:30-16:00	日本で働きたい人への就職支援セミナー 日本での面接攻略、仕事のための実践日本語、日本の職場マナー ◎張茜 (箕面市国際交流協会) 通訳を希望する場合、英語のみ対応可能 9/24までに要申込	対象 : 外国人市民 定員 : 20名 (要事前申込) 場所 : 講座室 参加費 : 無料
セミナー 10/15(土) 13:30-16:00	2022年度 秋の多文化ボランティアセミナー 13:30- 箕面市国際交流協会の紹介 (講師: 協会職員) 14:00- 「多文化な子どもの力を育む～母語教室から見えるもの～」 ◎大野友アンドレイア (Chat ²)、洪美羅、李鉉淑 (子ども韓国語教室)、 矢元貴美 (大阪大学大学院)	対象 : 協会でボランティアを始めたい方、協会ボランティアとして活動中の方 定員 : 25名 (要申込) 場所 : 講座室 参加費 : 賛助会員無料 1回 550円 保育あり 5名 (先着順)
10/22(土) 14:00-17:00	「医療への壁を超えるために～地域における外国人医療の現状とこれから～」 ◎中村智子・中本剛二 (みのお外国人医療サポートネット)、キム・ヴィクトリア (立命館大学) 16:00- ボランティア活動紹介 (協会ボランティアグループおよび市内国際交流団体によるブース出展)	

古本、CD を寄付してください!

3年ぶりに11月12日(土)に多民族フェスティバルが開催されます!
 めろん編集グループでは、世界の言語の本やDCを並べて古本市を開きます。
 つきましては皆様の周りで無償でご提供いただける古本がありましたらご寄付ください。多文化交流センター1F受付横にボックスまでお持ちいただくか、協会の「めろん」担当者: 岩城、河合、末原、中村由まで。

中古のCDやDVDも取り扱います。

収益は「めろん」の取材費やイベント企画費などに活用させていただきます。



唐木幸子バレエスタジオ ～箕面の地で40年の歴史～

*バレエコース: 「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書(Dipolma)や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3才～80才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース: 徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者(姿勢科学士)が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。



〒562-0041 箕面市桜4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より30M)

072-721-6300 / 721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT会員



他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。

コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。

お祭り

箕面まつり

10/1 (土)
・ 2 (日)
13:00-20:003年ぶりに開催の「箕面まつり」、今年は秋に開催します。
ときめき広場を中心に、屋台コーナー、ステージイベント、盆踊りを実施!
10月2日(日) 2~5時 箕面市役所 ~箕面駅前ロータリー
吹奏楽やよさこい鳴子踊り等によるパレードも!場所 : ときめき広場・中央生涯学習センター (箕面市箕面 5-11-23)
問合せ: 箕面まつり推進協議会事務局
072-724-9201
info@minohmatsuri.net

お祭り

Re!Festa! レインボーフェスタ!2022

10/8 (土)
10/9 (日)3年ぶりの開催をめざすレインボーフェスタ&パレード。
両日開催される、ステージイベントの豪華ゲストもお見逃しなく。
10月9日(日) パレードへの参加は、当日登録(11時~開始)が必要!
秋晴れの下、共に歩きませんか!!場所 : 扇町公園 (北区扇町 1-1)
参加費: 無料
問合せ: レインボーフェスタ実行委員会
https://www.rainbowfesta.org/

上映会

「オールドロングステイ」上映会&監督トーク

10/15 (土)
10/16 (日)
13:00-在日コリアンの制度的無年金問題と差別、生活保障、人権課題をテーマに映画の上映会とトークイベント。
監督: 飯山由貴 / 2020年製作 / 日本手話・日本語 / 170分 / 日本場所 : 龍谷大学響都ホール
(京都市南区東九条西山王町 31)
参加費: 1,000円
主催・申込:
オールドロングステイ京都上映実行委員会
https://mobile.twitter.com/ols_kyoto

イベント

長島の岩は生きている

10/16 (日)
9:30-12:3092年を迎えるハンセン病療養所・長島愛生園を水俣病センター想
思社の永野三智さん、岡山大の松村圭一郎さん、さざなみハウスの
鍵屋翔子さんたちと巡り、先人たちの生活の記憶を感じる。
◎ 9:30-11:00 長島散策 (限定20名・現地参加のみ)
11:00-12:30 みんなで話す (リモート参加可能)場所 : 国立療養所 愛生園
(瀬戸内市邑久町虫明 6539)
参加費: 長島散策 1,800円
みんなで話す (現地) 1,500円
リモート 1,000円
主催・申込: さざなみハウス
info@sazanami-house.info

映画

ワタシタチハニンゲンダ! 上映会

10/28 (金)
~外国人学校に対する官製ヘイト、技能実習生、難民、入管の実態など
外国人差別の本質にせまる作品。
監督: 高賛侑 / 2022年製作 / 日本語 / 114分 / 日本場所 : シネピピア ビビアめふ 5F
(宝塚市売布 2-5-1)
鑑賞費: 1,800円 他
問合せ: シネピピア 0797-87-2261
時間は未定のため、映画館に問合せを。
http://www.cinepipia.com/

お祭り

かやのお宝人権まつり 2022

10/29 (土)
10:00-16:00今年もやります、お宝人権まつり! ステージ、展示、屋台、スタンブラリー
など盛りだくさん。comm cafe の出店メニューは、インドのパコラ、イ
ランのハルバ、キューバのコロッケ、香港の唐揚げなど。
多国籍の色々な味を屋台で楽しんでください。場所 : らいとびあ 21 周辺
(箕面市萱野 1-19-4)
参加費: 無料
主催: 暮らしづくりネットワーク北芝
www.raipi.org/

お祭り

第30回東九条マダン いこかつくろかみんなのまつり

10/30 (日)
13:00 ~ 15:30「東九条で、韓国・朝鮮人と日本人がひとつのマダン (広場) に集いつになって、み
んなのまつりを実現したい」という思いをこめて名付けられたイベント。
内容: プンムルノリ、マダン劇、和太鼓&サムルノリ、のど自慢、各種展示など
協賛: 凌風学園 PTA 後援: 京都府・京都市・京都府教育委員会・京都市教育委員会場所 : 元陶化小学校
(京都市南区東九条中御霊町 55)
入場料: 無料
主催 : 東九条マダン実行委員会
https://www.h-madang.com/

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?

ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう!
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42~45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、
デザイン等を修得

昭和45~47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー

昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ: 〒562-0012 箕面市白鳥2-2-30 電話/FAX 072(721)4151
E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

めろん編集ボランティアスタッフ 募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!! 編集会議の日程などについては、協会までお問合せください。

めろんの広報にご協力ください!

「めろん」をより多くの方に知ってもらうために、自治会やPTA、同窓会、研修、セミナーや授業など様々な催しで、地域から多文化共生を考えるためのツールとして配ってくださいますか。置いてくださるお店なども大歓迎! お問合せお待ちしております。

編 集 後 記

10ヶ月のオーストリア留学を終え、先月帰国した。いろんなことがあったが、楽しかった。前半はオンライン授業が続き、ウィーンの寮で毎日パソコンを開くだけの日々にも虚しくなることもあった。楽しくなったのは、現地の大学生と知り合い始めた後半からだ。

もちろん大変なこともある。一番辛かったのは、滞在許可書を取るために市役所に通ったことだ。貯蓄証明の書類が何度も再提出となったからだ。理由を聞いても、担当者によって言うことが異なるため、申請を繰り返すしかなかった。結局、許可が通ったのは滞在期限ギリギリの半年後だった。何度もめげそうになったが、それでも諦めずにいられたのは、現地の友達の支えがあったからだ。相談に乗るだけでなく、役所に書類を郵送する際、郵便局まで同行して、補足の説明書きをしてくれた。そうした心の優しい人たちと、もっと親しくなりたいと思う気持ちが、ドイツ語の学習だけでなく、留学生活そのもののモチベーションを維持させていた。

留学を終えて考えるのは、他の国から日本に移住してきた人たちのことだ。適切な日本語教育機関にアクセスできているのか、行政手続きを手伝う人は周りにいるのか、外国で暮らしていくには、現地の人のサポートが不可欠だ。今度は私が、外国人市民を支える側になりたいと思い、さっそく外国ルーツの子どものボランティアに応募した。いつか子どもたちから、私と話すことをモチベーションに日本語の勉強をがんばっている、と言われるようになるのが目標だ。(西岡)

アクセスマップ



バス オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
 - (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約200m
- ※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 55, 56 58, 59, 66	① 小野原 ② 小野原西
	175, 176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70, 78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から JR茨木方面から	92	① 小野原 ② 小野原西

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、鷺尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ：(公財) 箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター
Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp

HP : www.mafga.or.jp FB : facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル : http://portal.mafga.or.jp/